

# 全国銀行概況

（特定取引勘定設置銀行 21 行）

## 1. 損益状況

（※ 主な項目については表 1・2 を参照）

（表 1）損益状況

（単位：億円、％）

	全国銀行 (110行)		
	2021年度中間期	前中間期比増減額	増減率
<b>業務粗利益</b>	51,655	32	0.1
国内業務粗利益	37,910	3,125	9.0
資金利益	28,140	1,226	4.6
役務取引等利益	9,022	913	11.3
特定取引利益	△ 14	△ 130	-
その他業務利益	762	1,116	-
国際業務粗利益	13,745	△ 3,095	△ 18.4
資金利益	8,699	1,490	20.7
役務取引等利益	2,346	68	3.0
特定取引利益	1,576	△ 431	△ 21.5
その他業務利益	1,124	△ 4,221	△ 79.0
経費 (△)	32,263	△ 386	△ 1.2
人件費 (△)	13,826	△ 268	△ 1.9
物件費 (△)	16,374	33	0.2
税金 (△)	2,062	△ 151	△ 6.8
<b>実質業務純益</b>	19,402	417	2.2
うち国債等債券関係損益	1,090	△ 2,908	△ 72.7
コア業務純益	18,313	3,325	22.2
除く投資信託解約損益	17,272	2,784	19.2
一般貸倒引当金繰入額 (△)	943	△ 721	△ 43.3
<b>業務純益</b>	18,448	1,150	6.6
臨時損益	3,746	7,068	-
個別貸倒引当金繰入額 (△)	612	△ 1,545	△ 71.6
貸出金償却 (△)	417	△ 181	△ 30.3
株式等関係損益	3,083	1,975	178.1
貸倒引当金戻入益	1,203	1,081	880.4
償却債権取立益	450	281	165.3
その他	37	2,006	-
<b>経常利益</b>	22,191	8,206	58.7
特別損益	394	△ 86	△ 17.9
税引前中間純利益	22,585	8,121	56.1
法人税、住民税及び事業税 (△)	5,088	850	20.1
法人税等調整額 (△)	1,604	1,707	-
<b>中間純利益</b>	15,892	5,563	53.9

（注）業務粗利益 = 資金利益 + 役務取引等利益 + 特定取引利益 + その他業務利益  
 資金利益 = 資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用)  
 役務取引等利益 = 役務取引等収益 - 役務取引等費用  
 特定取引利益 = 特定取引収益 - 特定取引費用  
 その他業務利益 = その他業務収益 - その他業務費用  
 実質業務純益 = 業務粗利益 - 経費等  
 コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券関係損益  
 コア業務純益 (除く投資信託解約損益) = コア業務純益 - 投資信託解約損益  
 業務純益 = 業務粗利益 - 経費 - 一般貸倒引当金繰入額

（以下は、銀行単体をベースに取りまとめたものである。）

## (1) 業務粗利益

**業務粗利益**は、国内業務部門の増益が国際業務部門の減益を上回ったことから5兆1,655億円（前中間期比32億円、0.1%増）と増益となった。その内訳を概観すると、以下のとおりである。

### ① 資金利益

**資金利益**は、国内業務部門と国際業務部門ともに増加し、3兆6,839億円（前中間期比2,715億円、8.0%増）と増加した。

うち、国内業務部門は2兆8,140億円（前中間期比1,226億円、4.6%増）と増加した。これは、有価証券利息配当金が6,173億円（同806億円、15.0%増）と増加したこと等により、資金運用収益が2兆9,507億円（同1,061億円、3.7%増）と増加したほか、預金利息等の資金調達費用が1,368億円（同166億円、10.8%減）と減少したことによる。

また、国際業務部門は、8,699億円（前中間期比1,490億円、20.7%増）と増加した。これは、貸出金利回りの低下等を要因として貸付金利息が6,871億円（同2,342億円、25.4%減）と減少したこと等により、資金運用収益が1兆3,053億円（2,527億円、16.2%減）と減少したものの、預金利息等の資金調達費用が4,354億円（同4,017億円、8.3%減）と減少し、資金運用収益の減少をカバーしたことによる。

### ② 役務取引等利益

**役務取引等利益**は、国内業務部門において、投信販売手数料や法人向けソリューション関連手数料の増加により、9,022億円（前中間期比913億円、11.3%増）と増加するとともに、国際業務部門においても、2,346億円（同68億円、3.0%増）と増加したことから、1兆1,368億円（同981億円、9.4%増）と増加した。

### ③ 特定取引利益

トレーディング業務に係る**特定取引利益**は、国内業務部門が収益超過から損失超過に転じるとともに、国際業務部門においても減少したことにより、1,562億円（前中間期比562億円、26.4%減）と減少した。

### ④ その他業務利益

**その他業務利益**は、国内業務部門において、国債等債券関係損益および金融派生商品損益が損失超過から収益超過に転じたこと等により、762億円の収益超過（前中間期は355億円の損失超過）に転じた。一方、国際業務部門においては国債等債券関係損益の収益超過額が大幅に減少したこと等により、1,124億円（同4,221億円、79.0%減）と大幅に減少した結果、全体では1,886億円（同3,104億円、62.2%減）と減少した。

## (2) 実質業務純益

**実質業務純益**は、国債等債券関係損益の大幅な減少等があったものの、資金利益等の増加および経費の減少により、1兆9,402億円（前中間期比417億円、2.2%増）と増益となり、上記(1)の業務粗利益よりも増益幅が拡大した。

コア業務純益は1兆8,313億円（前中間期比3,325億円、22.2%増）と増加し、コア業務純益（除く投資信託解約損益）は1兆7,272億円（同2,784億円、19.2%増）と増加した。

## (3) 経常利益

**経常利益**は、一般貸倒引当金繰入額および個別貸倒引当金繰入額が減少したことや、株式等関係損益の収益超過額および貸倒引当金戻入益が大幅に増加したこと等により、2兆2,191億円（前中間期比

8,206億円、58.7%増）と大幅な増益となった（増益94行、減益13行、黒字転換3行）。

**(4) 中間純利益**

中間純利益は、1兆5,892億円（前中間期比5,563億円、53.9%増）と大幅な増益となった（増益85行、減益20行、黒字転換5行）。

**(5) 利回り・利鞘（国内業務部門）**

資金運用利回りが0.67%（前中間期比0.02%ポイント低下）、資金調達原価が0.55%（同0.08%ポイント低下）となった結果、総資金利鞘は0.12%（同0.06%ポイント拡大）となった。

国内業務部門の利回り・利鞘の推移等および計算式の詳細については、「付属表」の第15表を参照。

**(表2) 資金利益の内訳**

（単位：億円、%）

	全 国 銀 行								
	全 店 分			国 内 業 務 部 門			国 際 業 務 部 門		
	2021年度 中 間 期	前中間期 比増減額	増減率	2021年度 中 間 期	前中間期 比増減額	増減率	2021年度 中 間 期	前中間期 比増減額	増減率
資 金 運 用 収 益	42,452	△ 1,475	△ 3.4	29,507	1,061	3.7	13,053	△ 2,527	△ 16.2
貸 付 金 利 息	29,105	△ 2,281	△ 7.3	22,233	61	0.3	6,871	△ 2,342	△ 25.4
手 形 割 引 料	67	△ 23	△ 25.1	50	△ 15	△ 23.0	17	△ 8	△ 30.7
有価証券利息配当金	10,998	794	7.8	6,173	806	15.0	4,824	△ 12	△ 0.2
コールローン利息	△ 11	△ 12	-	△ 2	4	-	△ 9	△ 16	-
預 け 金 利 息	908	67	8.0	659	194	41.8	249	△ 127	△ 33.9
そ の 他	1,386	△ 20	△ 1.4	394	11	2.8	1,101	△ 23	△ 2.1
資 金 調 達 費 用	5,614	△ 4,191	△ 42.7	1,368	△ 166	△ 10.8	4,354	△ 4,017	△ 48.0
預 金 利 息	1,152	△ 1,667	△ 59.1	371	△ 67	△ 15.3	780	△ 1,600	△ 67.2
譲渡性預金利息	226	△ 541	△ 70.5	13	△ 2	△ 11.4	213	△ 539	△ 71.7
コールマネー利息	4	△ 49	△ 92.9	△ 20	8	-	23	△ 57	△ 70.9
借 用 金 利 息	2,581	△ 464	△ 15.2	524	△ 57	△ 9.8	2,057	△ 407	△ 16.5
社 債 利 息	523	△ 142	△ 21.3	118	△ 59	△ 33.1	405	△ 83	△ 17.1
そ の 他	1,128	△ 1,329	△ 54.1	361	10	3.0	875	△ 1,331	△ 60.3
資 金 利 益	36,839	2,715	8.0	28,140	1,226	4.6	8,699	1,490	20.7

（注）資金利益 = 資金運用収益 - （資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用）

**2. 主 要 勘 定**

（※ 資金調達・資金運用の主な項目については表3を参照）

**(1) 資金調達（末残）**

預金は、国内業務部門と国際業務部門ともに減少したことから、918兆8,732億円（前年度末比5兆4,294億円、0.6%減）と減少した。

**(2) 資金運用（末残）**

貸出金は、国内業務部門と国際業務部門ともに減少したことから、608兆3,002億円（前年度末比3兆2,199億円、0.5%減）と減少した。

有価証券は、国内業務部門と国際業務部門ともに増加したことから、265兆8,402億円（前年度末比6兆6,245億円、2.6%増）と増加した。

リスク管理債権（銀行勘定の単体ベース）については「付属表」の第3表を、その他主要資産残高については「付属表」の第2表を参照。

### (3) 純資産勘定

第二地銀協地銀4行において増資が行われたものの、銀行の合併があったことから、資本金は10兆1,384億円（前年度末比45億円、0.0%減）となった。

純資産勘定の推移については、「付属表」の第5表を参照。

国内業務部門＝国内店の円建取引

国際業務部門＝国内店の外貨建取引＋海外店の取引

（円建対非居住者取引とオフショア勘定は国際業務に含む）

（表3）主要勘定の内訳（末残）

（単位：億円、%）

	全 国 銀 行								
	全 店 分			国 内 業 務 部 門			国 際 業 務 部 門		
	2021年度 中間期末	前年度末 比増減額	増減率	2021年度 中間期末	前年度末 比増減額	増減率	2021年度 中間期末	前年度末 比増減額	増減率
預 金	9,188,732	△54,294	△ 0.6	8,264,768	△12,838	△ 0.2	923,963	△41,456	△ 4.3
譲渡性預金	612,377	53,792	9.6	360,567	42,546	13.4	251,809	11,245	4.7
貸 出 金	6,083,002	△32,199	△ 0.5	5,056,208	△19,447	△ 0.4	1,026,793	△12,752	△ 1.2
有 価 証 券	2,658,402	66,245	2.6	1,873,810	17,795	1.0	784,591	48,450	6.6
国 債	886,444	△17,406	△ 1.9	874,620	△16,314	△ 1.8	11,823	△1,092	△ 8.5
地 方 債	260,041	17,684	7.3	260,041	17,684	7.3	-	-	-
社 債	274,388	△1,383	△ 0.5	274,388	△1,383	△ 0.5	-	-	-
株 式	251,036	4,237	1.7	251,036	4,237	1.7	-	-	-
そ の 他	986,491	63,112	6.8	213,722	13,571	6.8	772,768	49,541	6.9